

2019年12月5日
愛知製鋼株式会社

全国初「ステンレス製キュービックコネクション」が 「ステンレス協会賞 優秀賞」を受賞

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、ベルパークちっぷべつ（北海道秩父別町）内に設置した「ステンレス製キュービックコネクション*」の建設工事に採用されたステンレス鋼について、12月4日（水）、その物件を設計施工した株式会社都村製作所との連名で、第18回ステンレス協会賞の優秀賞を受賞しました。

更に、ステンレス協会創立60周年を記念し、優秀賞9点の中から各業界新聞社より特別表彰があり、本件は鉄鋼新聞社賞を受賞しました。

ステンレス協会賞制度は、ステンレス協会が1993年度より発足させ、社会に幅広く活用されているステンレス製品（建築・土木部材、製品、機能性部材、モニュメント等）のうち、社会環境との調和や新たな文化の創出に寄与した優れた機能性・意匠性・独自性等を有した事例を表彰するものです。

木材や普通鋼を用いたキュービックコネクションを採用した大型遊具施設は全国に多数ありますが、本事例は幅50m、高さ13mの6階層と極めて大規模であり、キュービックコネクションにおけるステンレス鋼の採用としては全国初となります。

本遊具施設がある北海道秩父別町は、道内でも有数の豪雪地帯で、冬季は遊具の大部分が雪に覆われるため、塗装がはがれやすく、メンテナンスコストの増加が懸念されていました。

これに対し、柱や梁などに耐食性に優れ、かつ低温でも割れにくいステンレス鋼（46^ト）を採用することで、施工後のランニングコストの低減を図りつつ、安全・安心で意匠性の高い遊具を実現しました。

当社は今後も、多様なニーズに応える技術開発・市場開拓に努め、付加価値の高い製品を提供することで、進化を続ける社会に素材で貢献していきます。

*キュービックコネクション：縦棒・横棒で形成されたキューブ状の遊具施設。

特に今回の受賞施設は、ジャングルジムやハンモックなど、約20種類のアスレチック要素を備えていることに加え、2階層までがバリアフリー構造となっており、車いすやベビーカーで利用できることも大きな特徴。



ベルパークちっぷべつに設置されている
キュービックコネクション



ステンレス協会賞優秀賞および
鉄鋼新聞社賞受賞の様子